

講演会

被爆75年に寄せて

母の被爆体験と伊方原発 原爆と原発は双子の兄弟

広島、長崎への原爆投下から75年の節目を迎え、今年は各地で原爆死没者を追悼する慰霊祭や記念の行事が計画されていましたが、新型コロナウイルスの影響で、その多くが中止や規模を縮小したものになっています。

「核と人類は共存できない」ということを、2011年3月の東京電力福島第一原発事故によって、私たちは改めて知ることとなりました。被爆75年を前にして、核廃絶を願って伊方原発をとめる会では講演会を開催します。

核兵器と原発は双子の兄弟であると、核兵器も原発もない社会を目指して活動

を続けている、胎内被爆者で愛媛県原爆被害者の会事務局長の松浦秀人さんから被爆75年に寄せてのお話をうかがいます。最年少の被爆者がいま伝えたいことに耳を傾けてみませんか。皆さまのご参加をお待ちしています。

伊方原発



日時：7月26日(日)13:30～15:30

会場：愛媛県美術館講堂

【入場無料】

講師：松浦 秀人さん

(愛媛県原爆被害者の会事務局長
伊方原発をとめる会事務局次長)

愛媛県原爆死没者慰霊祭で追悼文を読み上げる松浦さん



松山市街でヒバクシヤ国際署名を訴える松浦さん



伊方原発をとめる会

790-0003 愛媛県松山市三番町5-2-3ハヤシビル3F

電話 089-948-9990 FAX 089-948-9991

HP <http://www.ikata-tomeru.jp>